

# 平成27年度 予算

総額 799億6,820万円  
一般会計 402億9,649万円

## 「誇りと愛着を感じられる 魅力あるまちづくり」をめざして

今年度予算は、『教育・子育て』と『観光』に力を注ぎました。小中学校耐震化の改修工事（今年度末で耐震化率 100%）や、こども園の開設などに取り組み、観光案内所の充実や観光ガイドマップの作成、軽トラ市の会場である駒ヶ谷駅西側公園の改修、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた環境整備などの予算編成になっています。全体としては時代に即した行政サービスを提供していくために、事業の選択と集中を図り、より効果的・効率的な行財政運営に取り組むことを目指します。



平成 27 年度の当初予算は、第 1 回定例市議会で可決承認いただきました。一般会計と国民健康保険特別会計など7つの特別会計、それに水道事業会計を合わせた市全体の予算総額は799億6,820万円です。

※一般会計：福祉、教育、道路・公園整備などの一般的な事業を実施するための予算で、羽曳野市の事業の大部分を占めています。

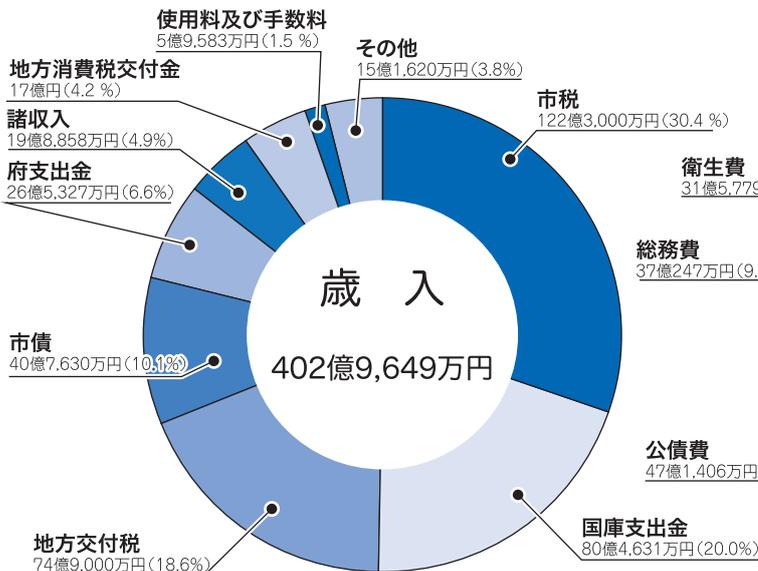
※特別会計：一般会計とは区別して特定の事業ごとに経理する予算で、羽曳野市には国民健康保険特別会計や介護保険特別会計、公共下水道特別会計など7つの特別会計があります。

### 会計別予算額

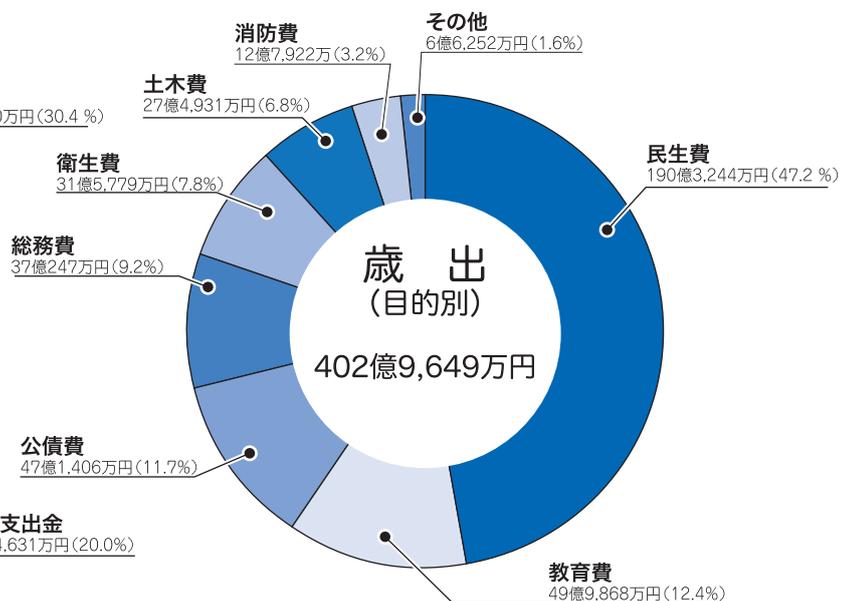
会計名	27年度	26年度	のび率(%)
一般会計	402億9,649万円	385億4,415万円	4.5
特別会計			
国民健康保険特別会計	170億9,274万円	149億7,218万円	14.2
と畜場特別会計	5,559万円	5,486万円	1.3
財産区特別会計	18億 452万円	18億3,082万円	-1.4
公共下水道特別会計	50億7,935万円	49億2,800万円	3.1
介護保険特別会計	96億4,870万円	88億8,421万円	8.6
土地取得特別会計	2億1,181万円	2億1,459万円	-1.3
後期高齢者医療特別会計	15億1,119万円	14億5,364万円	4.0
水道事業会計	42億6,781万円	41億 885万円	3.9
総額	799億6,820万円	749億9,128万円	6.6

※端数調整のため、各会計の合計値と総額の値は一致しません。

### 【歳入】一般会計の内訳



### 【歳出】一般会計の内訳(目的別)



平成27年度予算書は、市ウェブサイトまたは市役所本庁1階の情報公開コーナーにてご覧いただけます。

## 【主なソフト事業】

### ○観光による賑わいの創出と映画による地域活性化 257万円

古市駅東広場の観光案内所を、市の観光情報を発信する拠点として充実させるとともに、観光資源・特産品などを掲載した観光ガイドマップを作成します。「羽曳野市・藤井寺市・太子町シネマプロジェクト」については、完成した映画を活用して地域の魅力を最大限に発信し、地域の活性化を図ります。

### ○百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録推進 1,683万円

国際シンポジウムや七夕まつりなどのイベントを通してのPRや、空撮を含めた映像の作成を行い、古墳群の魅力発信を行います。また、案内板の設置などの整備を図り、国内推薦の決定に向けた総合的な機運の醸成を推進します。

### ○地域防災計画の策定と地域防災力の向上 7,462万円

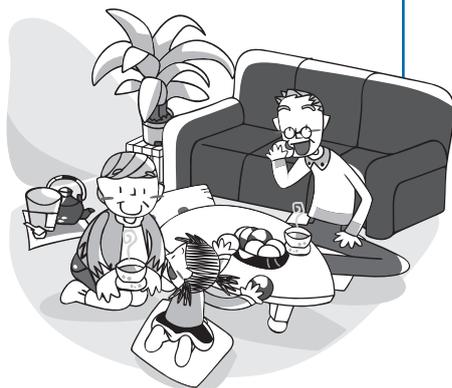
集中豪雨や地震などの大規模災害等の新たな被害想定を踏まえ、総合的かつ計画的な防災対策を実施するため、「地域防災計画」を策定します。また、備蓄物資等の購入や、災害時における必要最低限の電力を確保するため、避難所である道の駅「しらとりの郷・羽曳野」および「石川プラザ」に太陽光発電設備と蓄電池を設置します。

### ○留守家庭児童会学習支援の充実 612万円

放課後における児童の生活の充実や、保護者の就労を支援するため、留守家庭児童会の対象学年を小学校6年生まで拡充するとともに、さらなる学習習慣の定着を図るため、夏休みにおける集中的な学習支援を実施します。

### ○(仮称)きらきらシニアプロジェクト 470万円

高齢者の社会参加や地域貢献を促進することにより、参加者の介護予防並びに健康増進を図るため、高齢者が高齢者を支えるボランティアポイント制度「きらきらシニアプロジェクト」を実施します。



## 【主なハード事業】

### ○学校施設の耐震補強等改修事業 16億2,670万円

古市南小学校・高鷲中学校校舎の耐震改修工事を実施し、萱田中学校においては、一部校舎の耐震改修や円形校舎を含む旧校舎の解体工事を実施します。さらに、災害時に避難所となる小中学校の体育館の安全性を高めるため、天井や照明等の非構造部材の耐震化に順次取り組みます。

### ○こども園整備事業 3,875万円

多様化する子育てニーズに対応できる新たな保育・教育環境の充実を図るため、市西部地区において、「こども園」の開設に向けた取り組みを進めます。

### ○(仮称)LICウェルネスゾーン整備 3,500万円

「健康づくり・介護予防」拠点として、生活文化情報センター内に(仮称)LICウェルネスゾーンを整備します。

### ○駒ヶ谷駅西側公園整備事業 3,800万円

市のご当地キャラクター「つぶたん」のふるさととして施設全体の魅力向上を図るため、新たに遊具を設置するとともに、避暑、休憩ができる空間を整備します。

### ○(仮称)中央スポーツ公園整備事業 3億8,000万円

一層のスポーツ振興を図るため、多目的に利用できる屋外スポーツ拠点として、旧埴生小学校跡地に整備します。

### ○グレースヒルスポーツ公園グラウンド改修事業 1億7,990万円

グラウンドの周囲に防球フェンスを設置するとともに、本部棟の整備を実施し、野球場としての機能強化を図ります。

### ○道路整備事業 1億3,023万円

防災機能および交通環境の改善と、利便性の向上を図るため、市道東大塚美陵線の松原市域との残事業区間について、松原市と連携して整備を行います。また、老朽化が進む道路ストックについては、順次舗装工事等を進めるほか、平成25年度に策定した長寿命化計画に基づく橋梁の修繕工事を実施します。